

令和五年度 2学期 始業式 式辞

おはようございます。まずは、元気な姿で2学期始業式に参加している皆さんを見ることができ、安心しています。奥能登ではコロナ感染が増えているようです。皆さん一人一人、感染予防を心がけましょう。

さて、私は穴高祭1日目の8月25日、全国高P連宮城大会に参加していました。その2日前の23日に甲子園大会で準優勝した、仙台育英高校野球部監督、須江航氏の講演がありました。須江氏は、「人生は敗者復活戦」、「挫折のない人生なんて存在しないし面白くない」、「成功よりも失敗から学ぶことのほうが多い」と語っておられました。

皆さんの中にも、甲子園大会や、バスケットボールのワールドカップでの日本チームの逆転勝利をテレビで観た人もいることでしょう。また、スラムダンクの映画を観た人もいるかもしれませんね。スラムダンクでもっとも有名な名言は、安西先生の「あきらめたらそこで試合終了ですよ」です。

さて生徒のみなさん、今まで失敗したことはありますか？何かをあきらめたことはありますか？反対に、成功したことはなんですか？あきらめずにやり遂げたことはどうでしょう？

この長い夏休みの期間、大会や行事が目白押しでしたね。

まずは鹿児島県で開かれた全国総文祭に参加した弁論部の片岡さん、大舞台で自分の意見を堂々と述べてきたと聞いています。大変お疲れ様でした。

暑い中でしたが、長谷部まつりでの書道ガールズ&ボーイズのパフォーマンス、武者行列への参加。体験入学で補助をしてくれた生徒、アントレプレナーシップの発表、大妻女子大との交流、インターンシップで勤労体験をした生徒、みなさん本当によく頑張ったと思います。

そして、何ととっても穴高祭です。学年毎の合唱練習・発表、2日目一般公開の準備、当日の企画・運営、クラスの出し物、模擬店の買い出し・準備、販売、バンドの練習・ライブ、生徒会企画など多くの行事に全員が参加し多いに盛り上げてくれました。

学校祭の翌日にも、いしかわエコデザイン賞でのプレゼン、奥能登応援フェアでのメロンパン販売に参加してくれた生徒もいます。忙しい中、本当にありがとう。

さあ、2学期です。ここからは気持ちを切り替えましょう。3年生は、就職試験が間近に迫り、進学の方もいよいよ本気モードに入る必要があります。「受験は団体戦」と言われます。3年生34名が、「チーム穴高3年」という気持ちで、全員で希望進路を勝ち取りましょう。

8月の最後の週に各学年の先生方を中心に、生徒一人一人の希望進路を確認しました。1、2年生の中にはまだ具体的な希望進路先を決めかねている生徒もいるようですが、本校の先生方は、生徒一人一人に寄り添い、各学年の生徒全員の希望進路を実現するために、力を尽くしていただきます。生徒のみなさんは、先生方を信頼し、なんでも相談しながら、自分の希望する進路に向かい、先を見据えて今できる最大限の努力をしてください。

「努力はうそをつかない」という言葉を信じ、98名全員で前を向いて進みましょう。

「夏に鍛える」をテーマにした40日間でしたが、みなさんそれぞれに鍛えた部分があると思います。酷暑も徐々に緩み、過ごしやすくなる2学期です。「秋」勉強・部活動に思い切り励みましょう。

以上、2学期始業式の式辞とします。